

敬愛学園高等学校

令和五年度前期選抜試験 ① 問題

国語 解答用紙は1～50までを使いなさい。

〔注意〕

- * 開始の合図があるまでは、この問題用紙を開かないこと。
- * 開始の合図があったら、初めに必ず問題数（①～⑤⑩）を確認すること。
- * 解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。
- * 解答用紙の記入上の注意をしっかりと読むこと。
- * 終了の合図があったら、ただちに筆記用具を置き、解答用紙はウラにして試験監督の指示に従うこと。
- * 試験時間は50分、配点は100点。
- * 問題に関する質問は受け付けない。
- * 解答用紙のみ提出し、問題用紙は持ち帰ること。

次の問いに答えなさい。

問 次の各文のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれ選択肢ア～エの中から一つずつ選びなさい。

1 湖ハンの宿に泊まった。

ア 畔 イ 伴 ウ 帆 エ 般

問題番号 ①

2 人々から怒りの声がフン出した。

ア 噴 イ 墳 ウ 紛 エ 憤

問題番号 ②

3 親類エン者が近くに住んでいる。

ア 援 イ 園 ウ 宴 エ 縁

問題番号 ③

4 必要書類を請キユウする。

ア 求 イ 給 ウ 級 エ 究

問題番号 ④

5 感覚をトギ澄ます。

ア 磨 イ 研 ウ 執 エ 遂

問題番号 ⑤

問 次の1～3の三つの□に同じ漢字を語群Aから選び熟語を完成させなさい。ただし二回選択することはできない。

1 □慮 ・ 回□ ・ □問

2 □査 ・ □理 ・ 誤□

3 □念 ・ 大□ ・ □要

語群A ア 概 イ 真 ウ 顧 エ 審

問題番号 ⑥

問題番号 ⑦

問題番号 ⑧

問 次の1、3の三つの「」に同じ漢字を語群Bから選び熟語を完成させなさい。ただし二回選択することはできない。

4 二迫 ・ 密 ・ 縮

5 退 ・ 託 ・ 伸

6 設問に不備があったため削除

語群B ア 緊 イ 屈 ウ 凍 エ 偶

問題番号⑨

問題番号⑩

問題番号⑪

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

できるだけ精密に

教養のための新書、選書を読むということと、専門外の學術書を読む、ということ自身を「書きことば」の強化のための方法としてあげた。そのこととかかわって、「書きことば」を精密に読む、という方法もありそうだ。「古典を読む」ということも一つの方法として考えることができる。「古典」と呼ばれるような書物の場合、これまでの「よみ」が蓄積されていることがほとんどであろう。そうしたものを頼らずに自身で読む、ということはもちろんいい。これまでの「よみ」を「ガイド」にして読むのもいい。「古典」と呼ばれるような書物は現在書かれたものではないことがほとんどで、場合によってはギリシャ時代に書かれた、というようなものもある。「書きことば」は時空を超えるためにある、と述べたが、どれだけ「時空を超えるか」を実感することができる。日本語以外の言語で書かれた古典を日本語で読む場合には、「翻訳」すなわち異言語間（※1）の置き換えということについて考えることもできる。日本語の古典、ということでは、日本語が変化してきたということを実感することができる。

『源氏物語』をそのまま理解できる人は少ないだろう。辞書を引いたとしても、まだ難しそうだ。大学で『源氏物語』を一生懸命学びました、と就職活動の面接で言ったとしても、「我が社は君のような人材を求めているんだよ」とはならないだろう。がんばったことが尊いのだという「みかた」もあるかもしれない。現代の日本において『源氏物語』を学ぶことの意義を説明するのは案外難しい。しかし、もつとも「ハードな書きことば」ということからすれば、古典はその「極北」にあるともいえよう。言語面では最上級の「ハードな書きことば」を読むということだろう。日本語ではあるが、自身が知らない日本語があることに気づき、そのことによって、現代日本語は相対化される。「相対化」は自身が絶対ではないということ、これもキーワードの一つとってよい。「内容」についていえば、「共感できること／共感できないこと」だろうか。

時空を超えるということは「今、ここ」ではない、ということでもある。「今、ここ」が最優先されることが多い時に、非「今、ここ」はそれだけで大事なことをいえる。「今、ここ」が突然出現したのではなく、「今、ここ」に至るプロセスがある、ということ

意識することは大事だ。それは「歴史」を意識することでもある。そして「歴史」を意識するということは、「事実」には必ず人間が関与しているということを知ることにもつながる。(A)、しらずしらずのうちに自分が属している時空の「現在」の価値観によって、すべてを推し量ろうとしていることも、非「今、ここ」とふれることによって気づく。「現在」の相対化、自身の価値観の相対化はどうしても必要なことであろう。人間は個人が具体的に経験してきたことに基づいて判断をする。それは「必然」であるが、少なくとも自身がありとあらゆることを経験しているわけではないということはいつも意識しておく必要がある。相対化はつねに「カウンターオピニオン」(※2)があるということを意識することでもあるし、自身の言説についていえば、反証可能性(falsifiability)(※3)が確保されているということでもある。「カウンターオピニオン」は広く知られているだろう。野における「セカンドオピニオン」は

そうであるから、筆者が本書で述べていることも、もちろん筆者の限られた経験の中で述べているに過ぎない。異なる価値観、異なる判断はもちろんあるはずだ。大事なのは、まずは異なる価値観、異なる判断があることを認めること。次にはその異なる価値観、異なる判断にまずは耳を傾けることであろう。受け入れられないことは誰にでもある。これは受け入れられないな、という判断はあつてよいが、自身がいつも絶対的に正しいとは思わないほうがいいだろう。

(今野真二『うつりゆく日本語をよむ』)

※1 異言語間…異なる言語の間。

※2 カウンターオピニオン…二〇一七年十一月九日に、アメリカのワシントン・ポスト紙は、ウェブサイトのオピニオン記事に、自社の記事での主張と対立的な記事を勧める「カウンターポイント(反対意見)」という仕組みを導入したことが知られている。しかし、日本の新聞においては、まだ「カウンターオピニオン」という「思想」自体が顕在化していない。

※3 反証可能性…カール・ポパー(一九〇二～一九九四)は、科学的理論は自らが誤っていることを確認するテストを考案し、それを実行することができることを提唱し、そうした「反証可能性」が備わっていることを「科学」の基本条件とした。

問 傍線部 A 「精密に読む、という方法もありそうだ」はいくつの単語に区切れるか、その数として最も適切なものを次の A ～ E の中から一つ選びなさい。

問題番号 ⑫

- A 八 I 九 U 十 E 十一

問 傍線部 B 「呼ばれる」の「れる」と、意味が同じものとして最も適切なものを次の A ～ E の中から一つ選びなさい。

問題番号 ⑬

- A 幼いころよく祖母に叱られた。
I 体調が回復しお粥が食べられるようになった。
U その後の母の身が案じられる。
E 家庭訪問で先生が家に来られる。

問 傍線部 C 「まだ難しそうだ」の「そうだ」と異なる意味・用法のものとして最も適切なものを次の A ～ E の中から一つ選びなさい。

問題番号 ⑭

- A 彼は会議に遅刻するそうだ。
I 今年の夏は暑くなりそうだ。
U 子供が今にも泣きそうだ。
E あの選手はいかにも強そうだ。

問 傍線部 D 『源氏物語』の作者はだれか、最も適切なものを次の A ～ E の中から一つ選びなさい。

問題番号 ⑮

- A 紫式部 I 清少納言 U 紀貫之 E 和泉式部

問 傍線部 E 「一生懸命学びました」で用いられる敬語の種類として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 16

- ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語 エ 接頭語

問 傍線部 F 「求め」の活用の種類として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 17

- ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用 エ サ行変格活用

問 傍線部 G 「あるかもしれない」の「ない」と意味・用法が同じものとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 18

- ア 少ししかない。
イ おもしろくない。
ウ 筆記用具がない。
エ 考えられない。

問 傍線部 H 「源氏物語」を学ぶことの意義」とはどのようなことか、説明として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 19

ア 「ハードな書きことば」を素早く解読するための能力を身に付けることは、就職活動や社会に求められる力に直結すると
思う。

イ 「時空を超える」経験をすることによって、「書きことば」として残された意味や、言語の成り立ちを学ぶということ。

ウ 「書きことば」を通じて時間の経過や言葉の変化を感じることにより自身の現在の価値観が絶対ではないということに気づくということ。

エ 「古典を読む」ということは蓄積されたこれまでの「よみ」の集大成であり、自身の現在の価値観は決して間違いないことであると認識すること。

問 空欄部 A に入る接続詞として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 20

ア また イ しかし ウ だから エ もしくは

問 傍線部 I 「ハードな書きことば」の文節の関係として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 21

ア 主語・述語の関係 イ 接続の関係 ウ 修飾・被修飾の関係 エ 並列の関係

問 傍線部 J 「相対化」の意味として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 22

ア 他のものと比較し、そのものの存在を考慮すること。

イ 相反する二つのものについて、優劣をつけること。

ウ 複数の主張を統合して発展的な結論を導き出すこと。

エ 本能や感情に流されることなく物事を考え、判断すること。

問 傍線部 K 「あらゆる」と異なる品詞として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア そちらの方 イ いろいろな花 ウ いわゆる成功者 エ ほんの一瞬

問題番号 23

問 傍線部 L 「広く」と異なる品詞として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 大きなパンを焼く窯。 イ 姉は荷物が少ない。
ウ 足が痛ければ、病院に行くべきだ。 エ 彼の結婚を嬉しく思う。

問題番号 24

問 傍線部 M 「もちろん」の品詞名として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 副詞 イ 連体詞 ウ 接続詞 エ 名詞

問題番号 25

三

次の文章A・Bを読み、後の問いに答えなさい。

【文章A 金子みすゞ「私と小鳥と鈴と」】

私が両手をひろげても、

お空はちつとも飛べないが、

飛べる小鳥は私のように、

地面じべたを速くは走れない。

私からだをゆすつても、

きれいな音は出ないけど、

あの鳴る鈴は私のように、

たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがつて、みんないい。

【文章B 湯浅誠「つながり続けることも食堂」】

多様性はすばらしく、そして危うい

(『金子みすゞ全集』より)

「みんなちがって、みんないい」

2019年10月の臨時国会・所信表明演説で、安倍総理が金子みすゞの詩を引用して、多様性を称揚（※1）した。多様性礼賛（※2）の象徴のようなこの言葉を安倍総理が引用するのは、2012年の政権発足以来、15回の施政方針・所信表明演説の中で初めてのことだった。

「みんなちがって、みんないい」

新しい時代の日本に求められるのは、多様性であります。みんなが横並び、画一的な社会システムの在り方を、根本から見直していく必要があります。多様性を認め合い、全ての人がその個性を活かすことができます。そうした社会を創ることで、少子高齢化という大きな壁も、必ずや克服できるはずです。

（第200回衆議院本会議・安倍首相所信表明演説）

平成の終わり、令和の始めに、総理大臣の重要演説でこの詩が引用されたことを、私は感慨深く受け止めた。私自身も、多様性を認め合う社会の実現を望み、歓迎しているからだ。しかし同時に、私は「安易な多様性礼賛は危うい」とも言ってきた。多様性と同性は、相性が悪い。なぜなら、多様化は世の中を細分化し、分断し、生きづらい人を増やす方向にも働きるからだ。多様化とは「みんなちがう」ということ。極端にいえば、異国人同士の集団のようなものだ。「みんないい」とその存在を認めるのはいいが、どうやって「共同・協働」するのかと言えば、簡単でないことは容易に想像がつく。

たとえば家族旅行。父はハワイに行きたい、母は温泉に行きたい、姉はドイツ・ニーランドに行きたい、自分はどこにも行きたくない、とする。さて、「みんなちがって、みんないい」から導かれる結論は？ バラバラにそれぞれ行きたいところに行けばいい？ それでは共同性は成り立たない。多様性は、自動的には共同性に至らない。むしろ、多様性は本来、共同性に反している。多様化とは、つながりにくい社会になることでもある。

あるのは「敬遠」「遠慮」「攻撃」

今、私たちが直面している課題の多くは、多様性のこの側面に由来するのではないかと、私は感じている。若い人たちの多様性への身の処し方が、ある意味でそれを象徴している。たとえば今の大学生は、小さいころから繰り返し、「みんなちがって、みんないい」と聞いてきている。「違うことを批判してはいけない」「**障害者**を差別してはいけない」ことを、頭では十分理解している。「みんないい」んだから。存在は肯定的に認めないといけない。でも、じゃあつきあえるかと言うと、つきあえない。つきあわない。

存在は肯定的に認めるが、つきあえないので、共同性は生まれない。むしろ目につくのは「敬遠」と「遠慮」と「攻撃」だ。

【①】「敬遠」は、たとえば「意識高い」という言葉の用法によく表れている。

「意識高い」とは、外国人留学生が増えた大学で、留学生と積極的に交流しようとする学生や、学外の人脈を積極的に広げよう、政治や社会の課題に積極的に向き合おうとする学生を形容する言葉だ。

意識が高いのと低いのが、どちらが良いかと言えば、高いほうがいいに決まっている。ゆえに「意識高い」は、褒め言葉、敬う言葉だ。しかし実際の用法は「うわつ、意識高つ」と使う。そこには、自分はつきあいたくない、というメッセージが込められている。

「意識高い」は、他人を敬って遠ざけるために使われている。

「個性的」も同じ。多様性礼賛の中では、個性的であることは「良いこと」だ。しかし「あの人、個性的すぎる」と、自分はつきあいたくないという意思表示としても使う。「みんなちがって、みんないい（だけど自分はつきあいたくありません）」というのが「敬遠」だ。^④

【②】「遠慮」。

誰かが何かで思い悩んでいるようなとき、そこに踏み込むかどうかの選択を前にして、「そつと」といってあげようよ」というように使う。遠くにいて、慮る（※3）。それは積極的なやさしさとしてもありえるが、消極的に使われることもある。「関わっても、どうせ背負いきれないから」だ。「違うんだから、どうせわかりあえないから」「かえって迷惑かもしれないから」だ。こうして、関わらないことが正当化される。「みんなちがって、みんないい（だけど自分は関わられません）」というのが「遠慮」だ。^⑤

【 ③ 】「攻撃」。

対面する場ではほとんど聞かず、主にネット上で展開されている。人数も、多くはないだろう。だが「みんなちがって、みんないい」という、上から与えられた「善いこと」のテーマ感にうんざりしたときはけ口として活用されることがある。「みんなちがって、みんないい（だけど自分は許さない）」というのが「攻撃」だ。

いずれの現象も、多様性に反しているのではなく、多様性が当然にもたらす結果だ。だって違うんだから。違うもの同士きあうのは、同じもの同士きあうのに比べて、めんどうなのだ。そのめんどうくさが、違うものばかりの中で同じものを探させ、集まらせ（細分化）、その居心地の良さの中に踏みとどまることで、違いを理解できないものにしていく（分断）。家庭の中から大学のキャンパス、社会と国家、そして国際政治まで、今起こっていることは、こういうことではないか、と私は考えている。繰り返しになるが、それは多様性からの逸脱ではなく、多様化がもたらす当然の帰結だ。^⑥

多様性だけでは足りない

しかし、だからといって多様性そのものを否定するべきではない。現にある多様性を封じ込めて、純化（※4）させようとするのは、現実的ではない。移民の受け入れを止めたところで、多様性から解放されるわけではない。日本人同士でも、健常者同士でも、たとえ家族であっても、人と人は、すでに、十分、多様だからだ。

それゆえ必要なことは、多様性もつ細分化と分断の傾向と向き合いつつ、それを乗り越える要素を多様性に加えることだ。言い換えれば、多様性がすばらしいものになるためには、多様性だけでは足りない。

^⑦何が足りないのか。インクルージョンが足りない。

インクルージョン (Inclusion) は一般になじみのない英語だが、相当する日本語を探すと「配慮」という言葉に行き当たる、と私は考えている（※5）。その本質をもっともよく言い当てたのは、第一章で紹介した高校生だった（※6）。彼はこう言った。

歩くのがちよつとゆっくりな人とは、自分もゆっくり歩くじゃないですか。そういうことだと思っんです。

歩くのがゆつくりな人と一緒に歩くために、ちょっとゆつくり歩くこと。それがインクルージョン＝配慮だ。多様性に配慮が加わって初めて、多様性の良い側面が開花する。

今の多様性は、配慮なき（あるいは配慮できない）多様性（Non-Inclusive Diversity）だ。ここから早く、配慮ある（あるいは配慮できる）多様性（Inclusive Diversity）の段階に進む必要がある。私は、それを2020年代の時代的課題と考えている。

「配慮ある」とは、相手の境遇やそこからの世界の見え方に関心を寄せ、それと自分を架橋すること（※7）を指す。たとえば、先の家族旅行。父はハワイに行きたい、母は温泉に行きたい、姉はデイズニーランドに行きたい、自分はどこにも行きたくない、となったとき、「みんなちがって、みんないいから、じゃあバラバラで」とならないためには、なぜ父はハワイに行きたいのか、なぜ母は温泉に行きたいのか、その意向が相手のどこからどのように出てきているのかに関心を寄せる必要がある。そして尋ねた結果、母が温泉に行きたいのは年老いた祖母を連れていきたいのだとわかれば、その母の想いに共感した自分の想いを父と姉に伝え、各自の「そういうことなら、今回は温泉でいいか」という理解と共感を引き出す必要がある。

これが「みんなちがって、みんないい」と「共同性」を両立させるために必要な「配慮」だ。ハワイか温泉かに「正解」はない。帰ってきたときに「よかったね」とみんなで言い合えれば、そこが正解だ。それを「納得解」という。納得解をつくるために欠かせないのが「配慮」だ。

（湯浅誠『つながり続けることも食堂』）

※1 称揚…しようよう。ほめたたえること。ほめあげること。

※2 礼賛…らいさん。ありがたく思ってほめたたえること。

※3 慮る…おもんばかり。よく考えてみる。思いめぐらす。

※4 純化…じゅんか。まじりものを除くこと。

※5 inclusionという単語に関して、筆者は次のように注をつけている。

Inclusionは、辞書では「包含、包括、算入」などと訳されていて、「配慮」という日本語訳は、ない。用法や意味を汲んだ「意訳」であることにご注意願いたい。

※6 筆者の著書に登場する高校生（当時）の平田ようへいくん。放送部に所属し、部活動の一環として子ども食堂を取材するうちに、子ども食堂になじみ通うようになる。彼の言動に関して、次のような記述がある。

平田くんは「ここ（※子ども食堂——出題者注）にも障害のある子とか来てるけど、その人たちは『下の人』じゃなくて、自分と違う視点と感性をもった『すごい人たち』だと思うようになった」と言う。

そしてそのテーマで、今年ラジオ・ドキュメンタリーを制作した。コンテストの鹿児島県予選を勝ち抜き、全国大会に出場予定だ。

「ふつうに接してもらいたいだけだと思うんです。特別扱いじゃなく。でも、ふつうに接せられるとついていけない。ちょっとゆっくり話せば、それで済んだりするんですよ」

「歩くのがちよつとゆっくりな人とは、自分もゆっくり歩くじゃないですか」
それだけのことだ、と。

※7 架橋…かきよう。橋をかけること。また、かけわたした橋。

問 傍線部①「私は感慨深く受け止めた」に関して、筆者は何を「感慨深く受け止めた」のか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 26

- ア 配慮に満ちた社会の創生を目指すこと。
- イ 共同性を認め合う社会の創生を目指すこと。
- ウ 多様性を認め合う社会の創生を目指すこと。
- エ 芸術性に満ちた社会の創生を目指すこと。

問 傍線部②「さて、「みんなちがって、みんないい」から導かれる結論は？」に関して、導かれると予想される結論として、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 27

- ア 「みんなちがって、みんないい」とは理想論であり、このままでは結論が出ないのだから、家族旅行自体をなくすべきだ。
- イ 「みんなちがって、みんないい」のだから、全員の意見を尊重すべきであり、家族全員ですべての場所に訪れればいい。
- ウ 「みんなちがって、みんないい」のだから、全員の意見を尊重すべきであり、全員がとりたい行動を別々にとることが望ましい。
- エ 「みんなちがって、みんないい」とは机上の空論であり、共同性を重視して家族の意見の違いをなくす努力をするべきだ。

問 空欄①～③にそれぞれ入る語句として適当な組み合わせはどれか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 28

- ア ①…最初に ②…必ず ③…最後に
- イ ①…なぜなら ②…しかし ③…つまり
- ウ ①…もちろん ②…たしかに ③…要するに
- エ ①…まず ②…次に ③…そして

問 傍線部③「意識高い」という言葉の用法」に関して、この用法と同様の言葉の用いられているものはどれか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 29

ア 【体育祭にて】

「あいつが一生懸命走ったから、クラス対抗リレーで入賞できた」

「このままの勢いで、他の競技もがんばろう」

イ 【授業にて】

「あの先生の教え方、丁寧でわかりやすいよね」

「教わったことを忘れないうちに復習しないとね」

ウ 【合唱祭の練習にて】

「またあの子、歌わない男子に注意している。そんなにいい賞がほしいのかな」

「ね。さぞいい賞がもらえるんだろうね」

エ 【友人の家に訪れて】

「この部屋ってシンプルだけど落ち着くんだよね」

「わかる。このまま住んでしまいたいくらい」

問 傍線部④「敬遠」に関して、これはどのようなことか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 30

ア 認めがたい相手をあえて賞賛することによって、自分とのかかわりを少なく済ませようとする事。

イ 認めがたい存在はいるが、否定することは道徳的に許されないもので、無理に賞賛すること。

ウ 認めたい相手を称賛しすぎることにより、相手と自分を比較して、自分を卑下してしまうこと。

エ 認めたい相手を素直に認めることができないので、結果として相手を非難してしまうこと。

問 傍線部⑤「遠慮」に関して、このようなことが起こってしまうのはなぜか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 31

ア 相手と自分のちがいにこだわりすぎるあまり、ちがいをなくしてから相手と関わらなければならないと思ひ込んでしまい、結果として相手と関わる事ができないから。

イ 相手と自分のちがいを必要以上に肯定することにより、現状を変えないことが黙認され、結果として相手とかわかることをためらってしまうから。

ウ 相手と自分のちがいをすべて認めなければいけないと思ひ込むあまり、社会的に許されない事柄も許すべきかどうかという疑問におちいってしまい、結果として相手との距離感をはかりかねてしまうから。

エ 相手と自分のちがいについて思考を巡らせすぎるあまり、両者のちがいのみならず、両者の境界もあやふやになってしまい、自他を同一のものとしてみなしてしまうから。

問 傍線部⑥「多様化がもたらす当然の帰結」とはどのようなことか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 32

ア 細分化と分断がおり、多様性の複雑化がさらに加速すること。

イ 細分化と分断がおり、ちがうもの同士が常時闘争状態になること。

ウ 細分化と分断がおり、ちがうものを遠ざけて排除すること。

エ 細分化と分断がおり、複雑な社会をまとめるリーダーの出現が待たれること。

問 傍線部⑦「何が足りないのか」という筆者の問いかけに対する答えとして正しいものはどれか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 33

- ア 多様性を守るために、過剰な自己表現と欲求を抑え込み、他の人を優先すること。
- イ 様々な人と関わりあうときに、配慮することを通して、多様性のみを大切にすること。
- ウ 多様な人との営みを成立させるため、多様性を抑制して、純化をさらに推し進めること。
- エ 多様性を認めながらも、相手の立場に立ち、物事を考えて自分と関わることを探すこと。

問 二重傍線部「父はハワイに行きたい、母は温泉に行きたい、姉はディズニーランドに行きたい、自分はどこにも行きたくない」に関して、本文全体を踏まえたとき、「自分」は他の家族にどのように声をかけるのが適切だと考えられるか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 34

- ア 「母さんはおじいちゃんとおばあちゃんのことを思って温泉に行きたいんだって。親孝行でとてもいい意見だと思うから、僕たちは全員この意見にだまって従うべきなんじゃないかな。」
- イ 「みんなちがって、みんないい」っていうもんね。これからは多様性と個性が大切にされるべき時代だから、それぞれの意見が大切にされるべきなんだ。だから、家族それぞれが別々にやりたいことをやろう。」
- ウ 「ぼくは旅行に行きたくない、でもそれだと話が進まない。みんなはどうしてハワイや温泉やディズニーに行きたいのか、よかったら理由が知りたいな。」
- エ 「ぼくはみんなの意見を否定しないから、みんなもぼくの意見は否定しないでほしい。みんながどこに行こうと勝手だけれど、ぼくはどこにもいかない。勝手に話し合ってくれ。」

問 障害者という記述を目にしたA君は、かつて別の文章で「障がい」と記述されたことを思い出し、両者の違いについて探究活動を行うことにした。文献調査を行っていると、NHK放送文化研究所が行ったアンケート資料を入手した。次に示すのは、その資料を一部抜粋したものである。資料を読んだうえで、次の各問に答えなさい。

(1) 世論調査の質問

Q1. これから、体の「しょうがい」を文字で表すときの書き方についてうかがいます。3つの書き方について、それぞれお尋ねします。まず、この書き方はどうですか。あなたのお考えに近いものを、1つだけ選んでください。

障 害

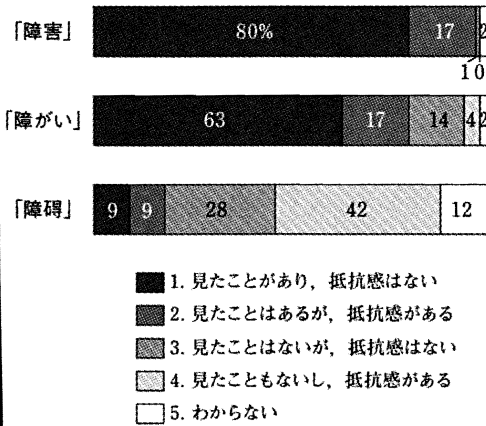
Q2. 次に、この書き方はどうですか。あなたのお考えに近いものを、1つだけ選んでください。

障 が い

Q3. この書き方はどうですか。あなたのお考えに近いものを、1つだけ選んでください。

障 碍

図1 障害表記に関する調査結果



実施期間：2019年10月4日～10月14日
 抽出方法：層化副次（三段）無作為抽出法
 調査方法：調査員による個別面接聴取法
 調査対象：全国の満20歳以上の男女4,000人
 回収数（率）：1,204人（30.1%）

(2) 障害者団体に対するアンケート

今回は、障害者団体に対してアンケートを実施した。対象は、「内閣府『障害者政策委員会』」「厚生労働省『社会保障審議会障害者部会』」のいずれかに委員を出している13の障害者（当事者）団体とした。

○アンケートの質問

【質問1】

(A) 貴団体では、次のどの表記を使うのがよいと考えていますか？

(1) 障害 (2) 障がい (3) 障碍 (4) その他の表記 (5) 決めていない

(B) 上記の理由

【質問2】

(A) 貴団体では、現在、団体の広報誌やホームページなどではどの表記を使っていますか？

(1) 障害 (2) 障がい (3) 障碍 (4) その他の表記 (5) 決めていない

(B) 上記の理由

○アンケートの結果

▼質問1 (B) の主な回答

「(1) 障害」と答えた団体 (5件)

・機能障害を持つ人の社会的な不利は社会のバリア（障壁）によって生じるものであり、その点を象徴する表記として「障害」を変える必要はない。

・一般的に使われているから。昔からの熟語。

「(2) 障がい」と答えた団体 (1件)

・「害」はイメージが悪く、「碍」は難しく過去の表記方法。「がい」がわかりやすく、やわらかいイメージが出てよ。

▼質問2 (B) の主な回答

〔1〕 「障害」と答えた団体 (12件)

(質問1で「決めていない」を選んだ団体の回答)

- ・ これまで使用してきた表記をそのまま使用している。
- ・ 基本的に、国、行政の表記にのっとり「障害」を使用している。しかし、会員である団体では、地方自治体の制定した条例の表記にのっとり「障がい」等を使用しているケースもある。

〔2〕 「障がい」と答えた団体 (2件)

- ・ 法律の文章や要請文などでは法律と同じ「害」を使っている。部内啓発の文章でも、「精神障害」などは「害」と書くことが多いが、「者」をつけて人に対して使う場合は、「精神障がい者」などのように交ぜ書きにする。
- 理由は、「自傷他害のおそれがある」などといった、精神障害者への偏見や差別が大きく、それを和らげるため。

(引用はhttps://www.nhk.or.jp/bunken/research/kotoba/pdf/20200401_3.pdfより。)

出題に際して、一部内容を改めている)

I. 図1からどのようなことが読み取ることができるか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 39

ア 「障害」という表記と比べると、「障害」「障がい」の表記の方が人々に知られている。

イ 「抵抗感はない」という回答を合わせると、「障害」「障がい」ともに80%を超えている。

ウ 「障害」と「障がい」の使用頻度や抵抗感にはまったく差はなく、どちらを使ってもかまわないといえる。

エ 「障害」に関しては、抵抗感がある人が8割を超えているため、今後の使用は控えるべきだ。

Ⅱ. 表記として「障害」のほうが望ましいと考える場合、どのような考え方が根拠となるか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 36

ア 「害」の字を用いることが法令によって定められており、多くの人が昔から慣例的に使っているから。

イ 「害」の字は多様性の重要性がうたわれる時代でも、機能障害を持つ人の困難を象徴しているから。

ウ 「害」の字が持つイメージの悪さをもって、社会問題の解決の困難さをあらわすから。

エ 「害」の字が法律の文章で一般的に用いられており、地方自治体の条例でも用いることが推奨されているから。

Ⅲ. 表記として「障がい」のほうが望ましいと考える場合、どのような考え方が根拠となるか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

問題番号 37

ア 政府により「がい」の字を用いることが条例により定められており、また一般的にも「がい」の方が普及しているため。

イ 「がい」の字は相手にやわらかいイメージを与え、社会問題が改善しつつあることを象徴するため。

ウ 「害」の字を用いた場合、差別や偏見が発生する可能性があり、それらを少しでも和らげるため。

エ 「害」「碍」ともに難しく過去の表記であり、人々にあまりなじみがないため。

四

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

五月ついたちごろ、つま近き花橘(※1)の、いと白く散りたるをながめて、

A 時ならずふる雪かとぞながめまし花たちばなの薫らざりせば

足柄といひし山の麓に、暗がりわたりたりし木のやうに、茂れる所なれば、十月ばかりの紅葉、四方の山辺よりもけに(※2)い
みじくおもしろく、錦をひける(※3)やうなるに、外より来たる人の、「今、まゐりつる道に、紅葉のいとおもしろき所のありつる」
といふに、ふと、

B いづこにも劣らじものをわが宿の世をあきはつるけしきばかりは

物語のことを、昼は日ぐらし思ひつづけ、夜も目のさめたるかぎりは、これをのみ心にかけてたるに、夢に見ゆるやう、

「このごろ皇太后宮の一品の宮の御料に、六角堂に遣水をなむつくる」といふ人あるを、「そはいかに」と問へば、「天照御神を念
じませ」といふと見て、人にも語らず、なにとも思はでやみぬる、いといふかひなし。春ごとに、この一品の宮をながめやりつつ、
さくと待ち散りぬとなげく春はただわが宿がほに花を見るかな

(『日本古典文学全集 和泉式部日記 紫式部日記 更科日記 讃岐典侍日記』)

※1 花の咲いている橘。こうじみかんをいう。

※2 一段と。副詞。

※3 引きめぐらす。

問 傍線部①「花橘の、いと白く散りたる」とあるが、それを見て作者が連想したものは何か。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 春 イ 花 ウ 宿 エ 雪

問 傍線部②「ながめ」の品詞名として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 助動詞

問題番号 39

問 傍線部③「おもしろく」の品詞名として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 助動詞

問題番号 40

問 傍線部④「錦をひけるやうなるに」とあるが、これはどここの景色のことを指しているか。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 四方の山辺 イ わが宿 ウ つま近き花橘 エ 茂れる所

問題番号 41

問 傍線部⑤「まゐりつる」を現代仮名遣いに直したものとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア まゐりたる イ まえりつる ウ まゐりける エ まいりつる

問題番号 42

問 傍線部⑥「日ぐらし」の単語の意味として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 終日 イ 一瞬 ウ 生活 エ 夢中

問題番号 43

問 傍線部⑦「いといふかひなし」の現代語訳として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア とても不甲斐ない イ 本当にどうしようもない
ウ 大層不愉快である エ とても素晴らしい

問題番号 44

問 Aの歌の季節として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

問題番号 45

問 Bの歌に用いられている修辞法として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 縁語 イ 掛詞 ウ 体言止め エ 本歌取り

問題番号 46

問 Bの歌の句切れとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 初句切れ イ 二句切れ ウ 三句切れ エ 句切れなし

問題番号 47

問 二重傍線部「ざり」「ず」「ぬ」「かな」の中で、品詞が異なるものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア ず イ ざり ウ かな エ ぬ

問題番号 48

問 この文章は『更級日記』の一部である。『更級日記』の読みを語群A 作者を語群B から最も適切なものをそれぞれ選びなさい。

- 語群A ア かげろうにつき イ こうきゆうにつき ウ さらしなにつき エ さろしなにつき

問題番号 49

- 語群B ア 藤原道綱母 イ 菅原孝標女 ウ 清少納言 エ 小野小町

問題番号 50